

6. 中核機関活動の報告 事業総括スタッフ

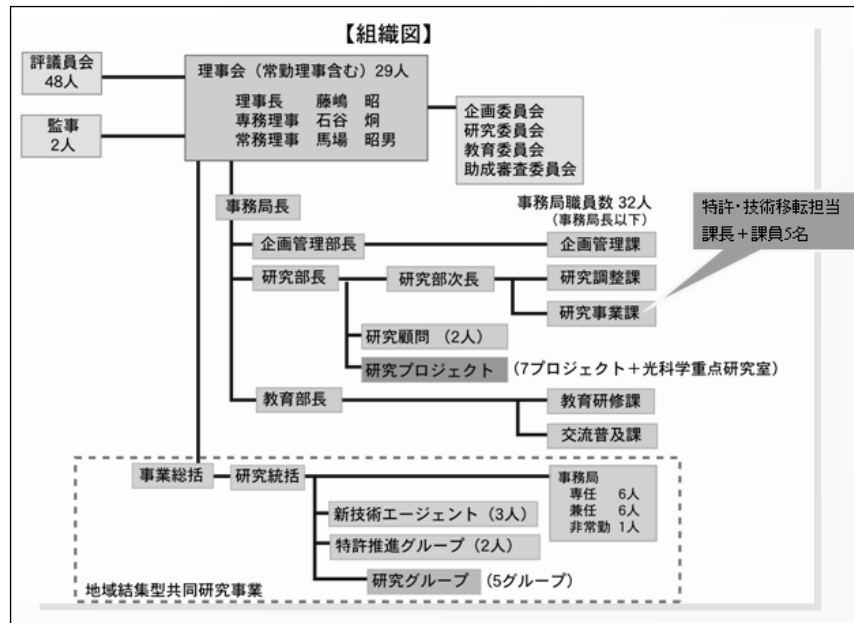
(1) 中核機関の事業推進体制

中核機関である財団法人神奈川科学技術アカデミー事務局の体制を下図に示す。

本事業専任職員及び兼任職員は、企画部企画管理課と研究部研究事業課に所属した。それぞれの事務分掌は次のとおりである。

【企画管理課】 予算立案、執行等経理事務及び人事関係等事務全般。

【研究事業課】 研究計画、進行管理、研究支援、技術移転、特許、契約等研究及び技術移転全般。



(2) 中核機関の活動

中核機関事務局は、本報告書に述べた、すべての活動を三役の指揮の下に一体的に実行した。

【補足：事業総括コメント】

事務局は、三役（事業統括、研究統括、新技術エージェント）の意向を実現するすべての作業を行った。更に特記すべきは、事務局自体で研究方針の策定の提案、特許戦略、製品の市場開拓戦略、企業との折衝など多岐にわたる事項について積極的、自主的な活動を行ったことである。本プロジェクト運営の円滑な進行と満足すべき成果の達成には、中核機関事務局の貢献によるところが多いと思われる。（額田健吉）